

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2000-289448(P2000-289448A)
【公開日】平成12年10月17日(2000.10.17)
【出願番号】特願平11-95750
【国際特許分類】

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/32 6 1 3 B

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月30日(2006.1.30)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車室とエンジンルームとを画す車両パネルの近傍に配置される膨張弁と、前記車室内に配置される冷却用熱交換器との間に設けられる車室側冷媒配管と、この車室側冷媒配管の一端部を前記膨張弁に固定するための車室側固定部材とを備えた自動車用空調装置において、前記膨張弁に接続されるエンジンルーム側冷媒配管の一端部を前記膨張弁に固定するためのエンジンルーム側固定部材を前記膨張弁に固定する第1のねじがねじ込まれる膨張弁側ねじ穴が前記膨張弁に設けられ、前記膨張弁を前記車室側固定部材に固定する第2のねじを通す貫通孔が前記膨張弁に設けられ、前記貫通孔に通された第2のねじの先端部がねじ込まれる固定部材側ねじ穴が前記車室側固定部材に設けられていることを特徴とする自動車用空調装置。

【請求項2】

前記エンジンルーム側固定部材には、前記第2のねじとの干渉を避けるための凹部が形成されていることを特徴とする請求項1記載の自動車用空調装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0015】

自動車用空調装置が車両に搭載された状態でエンジンルーム側から膨張弁を外す場合、エンジンルーム側に臨んでいる第1のねじを外せば、膨張弁が車室側固定部材から分離されるが、膨張弁は第2のねじによってエンジンルーム側固定部材に固定されているので、作業者はエンジンルーム側冷媒配管をエンジンルーム側に引けば、膨張弁をエンジンルーム側固定部材に固定された状態で外すことができる。また、前記エンジンルーム側固定部材には、前記第2のねじとの干渉を避けるための凹部が形成されている(請求項2)。